

科目名	文章表現法	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	迅速かつ適切な判断力と明快かつ正確な伝達能力は、医療の現場では特に不可欠である。この授業では、それらの能力の基盤となる論理的思考や表現力を学ぶ。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP3, DP4, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 自らの言葉で表現し他者の理解を得ることができる。 2. 論理的な文章を読み解き、論点の抽出と整理ができる。 3. 状況に応じて物事を判断し的確に伝達することができる。						
回数	教育内容	時間	方法				
1	・オリエンテーション（授業の手順・受講生の相互理解）	2	講義				
2	・明快な文を書く（誤解しやすい文例とその分析）	2	講義				
3	・ものごとをよく観察し、言葉でスケッチする。	2	講義				
4	・ある日の出来事を書く。（情景・人物・事件）	2	講義				
5	・意見を持つ。（様々なテーマについて考察する）	2	講義				
6	・根拠となる事例やデータを見つける。	2	講義				
7	・文章構成力（相手に伝わる文章展開の方法を練習する。）	2	講義				
8	・客観性と説得力（多角的な視点から問題を捉え、判断の妥当性を検討する。）	2	講義				
9	・論点の抽出と整理（さまざまなテーマの論説文から論点を正確に読み取り、整理する。）	2	講義				
10	・論理的な文章を読み、要約文を書く。	2	講義				
11	・多角的な読解力（自分とは異なる立場の意見や主張を想定し、多角的な視点から事象を理解する。）	2	講義				
12	・伝達力（図表や地図を言葉で説明する。）	2	講義				
13	・伝達力（口頭伝達に必要な明快さ、簡潔さを練習する。）	2	講義				
14	・状況判断力（業務報告・緊急事態など、様々な状況や対象に応じた実践的な伝達の方法を練習する。）	2	講義				
15	まとめ	1	講義				
16	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験及び授業中に作成する課題文(100点)						
テキスト	なし						
関連科目	人間関係論、健康支援論、保健医療福祉チーム演習、対象理解演習、看護過程演習、臨床看護基礎技術演習、看護研究の実践、医療安全と看護倫理						

科目名	看護情報学	単位	1	時間	15	講師名	院外講師 教員
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	看護職者として必要な情報リテラシーについて学び、活用できるスキルを身につける。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1,DP4,DP6,DP7の達成に寄与						
到達目標	1. 適正な情報活用について理解できる。 2. 演習を通して具体的な情報処理の方法を理解できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) ・情報の定義と特徴、保健医療福祉における情報、個人情報保護、情報の適正な取り扱い					2	講義
2	情報科学室のPC操作方法、PCの具体的操作(ワード)					2	講義 演習
3	PCの具体的操作(エクセル)					2	講義 演習
4	PCの具体的操作(パワーポイント)					2	講義 演習
5	情報の収集方法と整理 ・文献検索、図書の活用、レポートの書き方					2	講義 演習
6	各グループでテーマに沿ってワーク(グループワークの方法、ワード・エクセル・パワーポイントの活用)					2	講義 演習
7	グループで設定したテーマについて、まとめたものを発表					2	講義 演習
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(50点)レポート・参加度(50点)						
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学(医学書院) 医療・看護系のための情報リテラシー(東京図書)						
関連科目	文章表現法、情報科学、研究の基礎、看護研究の実践、医療安全と看護倫理						

科目名	情報科学	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	情報を理解し、処理、活用する能力を高め、研究をする上での基礎とする。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP4, DP6, DP7 の達成に寄与						
到達目標	1. 統計学の体系について理解し、データの種類と特性について理解できる。 2. 記述統計学の基礎を理解し、Excel を使用した統計処理方法を習得できる。 3. 推測統計学の基礎を理解し、Excel を使用した統計処理方法を習得できる。 4. 調査データの処理方法の基礎を習得できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 平均と分散 平均の役割・平均の特性					2	講義
2	分散及び標準偏差					2	講義
3	母集団と標本 正規分布					2	講義
4	標準正規分布の確率					2	講義
5	中心極限定理について					2	講義
6	仮説検定					2	講義
7	演習:EXCELの導入					2	演習
8	演習:EXCELを使った平均・分散・標準偏差ヒストグラムの作成					2	演習
9	演習:母平均一つの仮説検定					2	演習
10	演習:対になった標本の検定					2	演習
11	演習:2つの母平均の差の検定					2	演習
12	演習:2つの母平均の母分散が等しいと想定した検定					2	演習
13	演習:2つの母平均等母分散を想定できないときの検定					2	演習
14	母比率、2つの母比率の差の検定					2	演習
15	母比率の比較問題					1	演習
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(50点) 課題レポート(50点)						
テキスト	統計解析の基礎 増訂版(北樹出版)						
関連科目	看護情報学、研究の基礎、看護研究の実践						

科目名	教育学	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 2学期						
科目の目的と概要	様々な分野・場面における教育を主題とする諸問題に言及しながら、教育の理論や方法に関する理解を深める。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP6の達成に寄与						
到達目標	1. 教育の基本的概念についての知識を深める。 2. 教育の理念・歴史の変遷を理解する。 3. 教育理念・思想と、実際の教育や学校との関係を理解する。 4. 他者との意見交流をおし、教育について多角的に捉え直し、自分の意見を述べるができる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 教育学とは(オリエンテーション)					2	講義
2	なぜ教育学を学ぶのか(1)人間の発達と教育					2	講義
3	なぜ教育学を学ぶのか(2)「子どもの発見」と教育 ルソー、ペスタロッチなど					2	講義
4	なぜ教育学を学ぶのか(3)教授学の成立から現代まで コメニウス、ヘルバルト、デューイなど					2	講義
5	社会・分化・人間形成 教育と看護とケア					2	講義
6	社会変動と教育 教育的価値					2	講義
7	民主主義と教育(個性と公共性)					2	講義
8	教育と養護(教育・養護・ケア) 教育の病理(学校の病理を含む)					2	講義
9	教育の営みを考える(教育の目的と評価) 教育行政の現代的課題					2	講義
10	教育とメディア 視聴覚教育と教育工学					2	講義
11	家庭教育・学校教育・障害教育(社会教育)					2	講義
12	現代教育の本質と課題(1)					2	講義 議論
13	現代教育の本質と課題(2)					2	議論
14	現代教育の本質と課題(3)					2	アクティブ・ ラーニング
15	まとめと評価					1	議論 まとめ
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	なし(教科書に準じたものを資料として提供)						
関連科目	健康支援論、成人看護方法論Ⅰ、小児看護援助論						

科目名	人間工学	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	人間工学とは、人間の機能と特性に適合した使いやすい機器やしくみを考え、安全で効果的な方法を検討する学問である。ここでは、力の使い方や情報の処理、ヒューマンエラーへの対応などを学び、現場でのミスや事故を防いで効果的な看護が可能となる方法を考える。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP4, DP5, DP7の達成に寄与						
到達目標	人間の身体的特性や精神・心理的機能を踏まえた安全・安楽な看護技術、機器・用具、生活環境について理解し提案できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	・授業の進め方の説明：内容・方法・評価について ・看護の創意・工夫とアイデア創出（テキスト2章）：KJ法とは					2	講義
2	・人間工学のあらまし（1章） 人間工学とは何か ・KJ法演習					2	講義 演習
3	・看護に関わる五感とセンサについて（3章） 看護における五感の役割、五感を補う医療検査機器、情報とは何か					2	講義
4	・観察とフィードバック（4章） 物事が発生する原因と結果、フィードバックとコントロール、 看護と情報					2	講義
5	・看護とフィードバック制御（5章） フィードバックコントロールとフィードフォワードコントロール					2	講義
6	・人間の構造と看護姿勢・動作（6章） 人の動作は回ることが基本、看護姿勢・動作と力の関係					2	講義 演習
7	・看護動作を理解するための物理と力学（7章） 圧力・摩擦・作用反作用、重量と質量、慣性、重心線、支持基底面					2	講義 演習
8	・負担軽減のための基礎力学（8章） 看護に関わるテコの話、看護の負担がわかる力のモーメントの話					2	講義 演習
9	・ボディメカニクスとはなにか（9章） 身体に負担がかかる要因、ボディメカニクスが教えること、 支持基底面内の重心位置と不安定、重量物を持つ姿勢と負担					2	講義 演習
10	・ボディメカニクスを理解するための実験（10章） お辞儀による重心移動、支持基底面の広さと立位の安定性の確認					2	講義 演習
11	・人-物-人の安全を考える（11章） 人個人、人-物、人-人、人-物-人、人-自然現象 の安全・不安全を考える					2	講義
12	・看護の安全を考える（12章） ヒヤリハットとハインリッヒの法則、ヒューマンエラーとは何か、 リスクとは何か、フルプルーフとフェールセーフによる対策					2	講義
13	・看護の事故防止対策について（13章） 看護師にとってのリスクとは、 ヒューマンエラーを減らしてリスクをゼロに近づける工夫					2	講義
14	・医療用電子機器（ME機器）とフィードバック制御（14章） ・バリアフリーとユニバーサルデザインと人間工学（15章） その意味と実現方法					2	講義
15	・まとめ					1	講義
16	・終講試験					1	試験
評価方法	小テスト(20点)、提出物(10点)、筆記試験(70点)						
テキスト	① テキスト：「看護の環境と人間工学」、小川鏞一著、サイオ出版 ② 補助教材：「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」、医学書院 ③ 配布資料：適時、配布						
関連科目	生活支援論、心理学、人体の構造演習、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、看護共通基本技術、生命維持援助基礎技術、日常生活援助基礎技術、医療安全と看護倫理						

科目名	生活支援論	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 2学期						
科目の目的と概要	日常生活に焦点を当て、療養時・健康時・障害時を問わず望ましい環境とはどのようなものかを考え、環境整備と機器による生活支援の方法を学ぶ。科学的考察を可能にするために物理現象を理解した上で、環境整備や機器の適用を具体的に検討する。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP4, DP5, DP7の達成に寄与						
到達目標	1. 療養時・健康時・障害時を問わず望ましい住環境と整備について理解できる。 2. 日常生活における物理的現象を踏まえ、環境整備や機器の適用について理解できる。 3. 住環境の整備および福祉用具の特性を知り、具体的な生活支援の方法について理解できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明、生活支援とは何か、環境と健康の関係、物理の単位について					2	講義
2	ボディメカニクス 運動と力に関する基礎知識、支持基底面と転倒防止、圧力と褥瘡防止、浮力と浴槽事故防止など					2	講義
3	熱のコントロール 熱と温度に関する基礎知識、比熱と罨法、室内温湿度調整と換気など					2	講義
4	音と情報 音の基礎知識、ドップラー現象と救急車のサイレン、騒音レベル、超音波エコーについて					2	講義
5	光と情報 光の基礎知識、光源、色情報とパルスオキシメーター、反射とファイバースコープなど					2	講義
6	電気の利用 電気の基礎知識、電流のする仕事と屋内配線、感電（漏電）とアース、電気火災について					2	講義
7	磁気と放射線の利用 電磁誘導・電磁波の特性と応用、MRI磁場への留意点、放射線の特性と人体、など					2	講義
8	身体機能制限と生活環境 家庭内事故、高齢化に伴う住環境整備、疾患・障害・要介護度別環境整備					2	講義
9	住環境の整備 住宅改修の基本（段差解消、てすり取付、スペース確保）、入浴・トイレへのアクセス					2	講義
10	ベッド、リフト等移乗用品による生活支援 ベッド、リフト等移乗用品の種類と特性、使用法と留意点について					2	講義
11	杖・歩行器、車いすによる移動の支援 移動補助用具の種類と特性、使用法と留意点について					2	講義
12	情報・電子機器と自助具による自立支援 日常生活動作を補助する用具の種類と特性、使用法と留意点について					2	講義
13	福祉機器の操作体験 展示場などの見学、機器操作の体験・実習					2	講義・演習
14	科学的思考のための情報収集 インターネットの活用と安全対策、情報と遵法（個人情報流出防止、著作権の遵守）					2	講義
15	まとめ					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	小テスト(20点)、提出物(10点)、筆記試験(70点)						
テキスト	①系統看護学講座 別巻 物理学(医学書院) ②福祉機器 選び方・使い方 副読本(保健福祉広報協会) ③配布資料						
引用・参考資料	①平田雅子著 ベッドサイドを科学する(完全版)、学研メディカル秀潤社 ②福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト(改訂5版)、東京商工会議所						
関連科目	看護情報学、情報科学、人間工学、看護共通基本技術、生命維持援助基礎技術、日常生活援助基礎技術、老年看護援助論、医療安全、看護倫理						

科目名	研究の基礎	単位	1	時間	15	講師名	教育主事
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	研究のプロセスを理解し、研究的態度、科学的思考を養う						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP4, DP6, DP7の達成に寄与						
到達目標	1. 研究の基本（研究の意義・目的・倫理的配慮）について理解できる。 2. 問題解決のためのプロセスを理解できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 研究とは何か 研究を学ぶ意義 研究の歴史					2	講義
2	研究のはじめ方ーリサーチクエスチョンをたてる					2	講義
3	情報の検索と吟味ー文献レビューとその方法					2	講義
4	研究における倫理的配慮					2	講義
5	研究デザインー研究の設計と方法の選択					2	講義
6	データ収集とデータ処理					2	講義
7	データ分析					2	講義
8	研究計画書の作成 研究を伝える方法					1	講義
評価方法	レポート・研究計画書(100点)						
テキスト	系統看護学講座 看護研究(医学書院)						
関連科目	看護情報学、情報科学、リフレクション、看護研究の実践						

科目名	社会学	単位	1	時間	15	講師名	院外講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	家族・地域など組織社会の成り立ち、特徴、集団の中に生きる個人のありようについて学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP5 の達成に寄与						
到達目標	1. 社会的存在として人間及び現代の家族の実態と家族の機能を理解できる。 2. ジェンダーをめぐる問題を医療従事者としてどのように向き合うのか考えることができる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 看護師のキャリアパス					2	講義
2	結婚と家族・家族の発達					2	講義
3	経済と家族・家族のコミュニケーション、家族の生活設計・結婚期の家族					2	講義
4	中高年・老年期の家族、家族危機・離婚、現代家族の課題					2	講義
5	ジェンダーをめぐる問題					2	講義
6	ジェンダーをめぐる問題					2	講義
7	ジェンダーをめぐる問題					2	講義
8	終講試験					1	講義
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	なし						
関連科目	人間関係論、国際社会と健康、看護学概論、地域・在宅看護論Ⅰ、成人看護学概論、老年看護学概論、小児看護学概論、母性看護学概論、精神保健、精神看護学概論						



科目名	国際社会と健康	単位	1	時間	15	講師名	院外講師
開講時期	2年生 2学期						
科目の目的と概要	世界の動向に目を向け、先進国、発展途上国の社会現状を知り、世界の医療状況についての理解を深める						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP5 の達成に寄与						
到達目標	国際社会における現状と課題を知り、医療従事者としてどのように向き合うのかを考えることができる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 先進国及び開発途上国の社会の現状					2	講義
2	先進国及び開発途上国の社会の現状					2	講義
3	マイノリティをめぐる問題について医療従事者としてできること					2	講義
4	マイノリティをめぐる問題について医療従事者としてできること					2	講義
5	国際紛争をめぐる問題について医療従事者としてできること					2	講義
6	国際紛争をめぐる問題について医療従事者としてできること					2	講義
7	国際紛争をめぐる問題について医療従事者としてできること					2	講義
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	なし						
関連科目	国際社会と健康、看護学概論、母性看護学概論、精神保健、精神看護学概論、看護総合マネジメント						

科目名	心理学	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	人間の内的・心理的理解のための基礎的知識を習得し、発達心理・臨床心理の基礎とする。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP3 の達成に寄与						
到達目標	1. こころの発達やこころの現象について理解できる。 2. 自己と他者のあり方、および対人関係の中で生じるこころの動きについて知る。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 心理学への導入 心理テスト(1)					2	講義
2	心理テスト(1)解説 知覚導入					2	講義
3	知覚続き					2	講義
4	人格理論・類型論(クレッチマー・シェルドンなど)					2	講義
5	人格理論・類型論(ユング その1)					2	講義
6	人格理論・類型論(ユング その2) 心理テスト(2)					2	講義
7	人格理論・特性論(ビッグ・ファイブなど) 心理テスト(2)解説					2	講義
8	深層心理学導入 創造性テスト					2	講義
9	深層心理学(意識・無意識) 創造性テスト採点					2	講義
10	深層心理学(心の構造) 心理テスト(3)					2	講義
11	深層心理学(自我の防衛・防御機制) 心理テスト(3)解説					2	講義
12	深層心理学(自我の防御機制) 小テスト					2	講義
13	行動理論(行動主義)導入 小テスト解説					2	講義
14	行動理論(新行動主義 条件付け)					2	講義
15	行動理論(行動療法・認知行動療法など)					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	イラストレート心理学入門 第2版(誠信書房)						
関連科目	人間関係論、看護学概論、対象理解演習						

科目名	人間関係論	単位	1	時間	30	講師名	院外講師 教員
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	人間を人としての関係で生き、成長する存在としてとらえ、人間関係を円滑に保つ必要性と方法について理解するとともに、演習を通して自己理解、他者理解を深める。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP2, DP3, DP5, DP6, DP7 の達成に寄与						
到達目標	1. コミュニケーション研修を通じて、自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションの重要性を体感する。 2. 仲間と協力して取り組むことで、協力の大切さを感じる。 3. クラス一人ひとりの個性を理解し、他者を尊重する姿勢を育む。 4. 人の心を理解して共感できるようにする。						
回数	教育内容					時間	方法
1	野外体験学習 オリエンテーション					1	体験学習
2	コミュニケーション研修Ⅰ					2	体験学習
3	クラスビルディング					3	体験学習
4	キャンプファイア 振り返り					2	体験学習
5	コミュニケーション研修Ⅱ					2	体験学習
6	チームクッキング					3	体験学習
7	コミュニケーション研修Ⅲ					2	体験学習
8	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) ストレスとコーピング					2	講義
9	対人魅力					2	講義
10	同調					2	講義
11	服従 印象形成					2	講義
12	説得					2	講義
13	集団について①					2	講義
14	集団について②					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(50点)レポート・参加度(50点)						
テキスト	なし						
関連科目	心理学、保健医療福祉チーム演習、対象理解演習、リフレクション						

科目名	倫理学	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	<p>新型コロナ禍において、医療や看護の大切さやまた医療従事者の苦労も改めて再認識された。そのような状況で、人と人のかかわり方を主題とする「倫理学」を学ぶ重要性は、大きい。科学技術、またAI技術の時代をもふまえての、医療行為における「倫理性」も学ばなければならない。「AIとは」という問いは、「人間とは」という問いと表裏をなすからである。さらに「倫理」の問題を考えるということは、「人間とは」ということを問うということである。コロナ禍やAIの時代において、看護学を学ぶ必須の要件の一つは、医療技術と人間の問題を理解することであり、講義を通してこのような問題についての理解を得ることを目標とする。</p>						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP6 の達成に寄与						
到達目標	<p>1. 現代の日本社会が抱える倫理問題を通して、医療技術と人間の問題を理解することができる。</p> <p>2. 生命倫理が必要とされる歴史的社会的背景を踏まえ、医療・看護に携わる者が遵守すべき倫理にもとづいて思考できる。</p>						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 講義概要と目的					2	講義
2	哲学とは 哲学の1つである倫理学とは					2	講義
3	「ひと」とはいかなる存在か					2	講義
4	人類の文明史 ① (人類革命)					2	講義
5	人類の文明史 ② (科学革命)					2	講義
6	科学技術と「AI(人工知能)」における「知能」					2	講義
7	近世倫理学の成立 ① (デカルト)					2	講義
8	近世倫理学の成立 ② (カント)					2	講義
9	近世倫理学の成立 ③ (現代)					2	講義
10	生命倫理 ①					2	講義
11	生命倫理 ②					2	講義
12	生命倫理 ③					2	講義
13	生命倫理 ④					2	講義
14	講義のまとめ					2	講義
15	看護師国家試験における倫理の問題					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
参考文献	<p>「自己を生きる力 読書と哲学」(世界思想社)</p> <p>「悲哀の底 西田幾多郎と共に歩む哲学」(晃洋書房)</p>						
テキスト	なし						
関連科目	看護学概論、対象理解演習、医療安全と看護倫理						

科目名	一般英語	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	英語の文献を読み、理解する能力を養う。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP4, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 患者に的確な対応ができるための英語読解ができる。 2. 患者に的確な対応ができるための英語でのコミュニケーションの基礎ができる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
2	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
3	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
4	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
5	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
6	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
7	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
8	中間試験					1	試験
9	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
10	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
11	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
12	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
13	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
14	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
15	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(中間50点、終講50点)						
テキスト	15Selected Units of English through the News Media-2020 (朝日出版社)						
関連科目	医学英語、地域・在宅看護概論 I						

科目名	医学英語	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	医学的英語の文献を読み、理解する能力を養う。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP4, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 医療に関する英文文献を読み聞きし、理解することができる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 医療に関する英文文献講読 1)英文テキストのリーディング 2)リスニング 3)和訳 4)英訳					2	講義
2	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
3	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
4	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
5	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
6	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
7	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
8	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
9	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
10	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
11	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
12	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
13	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
14	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					2	講義
15	1)リーディング 2)リスニング 3)内容の和訳 4)内容の英訳					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	世界にみる医療と看護【新訂版】(朝日出版社)						
関連科目	一般英語、国際社会と健康、看護総合マネジメント						